

認知症サポーター情報交換会について

1. 経緯と進捗状況

本情報交換会は、認知症サポーターとして仙台市内で実際に活動する方の具体的な取り組み事例を紹介するとともに、活動を通じて感じた課題や様々なアイデアを共有し、今後サポーターとして活動を展開するうえでの一助とすることを目的とする。年 1 回の開催で、今年度は平成 31 年 3 月 14 日（木）に実施した。

対象者は、「仙台市内で認知症サポーターとして活動している方、または今後活動したいと考えている方」としており、特に活動の意思はあるが未経験の方のための、「自身が住む地域で出来るちょっとした取り組み事例」の紹介をし、地域活動に繋がるよう支援を行う。

【認知症サポーター情報交換会概要】

- (1) 日時 平成 31 年 3 月 14 日（木）13:30～16:00
- (2) 場所 仙台市シルバーセンター 6 階第 2 研修室
- (3) 内容

◇事例報告

報告① 「地域で活動する『歩こう会』の取り組み」（「歩こう会」メンバー、認知症当事者）

報告② 「カフェで行うボランティアの取り組み」（小松島地域包括支援センター 細谷 和美 氏）

報告③ 「私がボランティアを始めたきっかけ」（NPO 法人仙台敬老奉仕会 竹田 和枝 氏）

◇グループワーク形式による情報交換会 ほか

2. 今後の取組みについて

これまで本市では、厚生労働省が推進する「認知症サポーター100万人キャラバン」の一環として「認知症サポーター養成講座」を年 200～300 回程度行い、累計 7 万人以上の認知症サポーターを養成してきており、認知症に関する正しい知識と理解が着実に広がってきている。これまでは、活動内容や方法について、サポーター自身が考え、行動するものであったことから、活動するサポーターの固定化や、取り組みの好事例が共有されないこと等もあり、結果として活動の意思のある非活動サポーターへの十分な支援を行なってこなかった。今後は年 1 回の本情報交換会を通じ、サポーターが地域で活躍できるよう継続的に支援を行っていくこととする。